

第7次玉川村総合計画 概要

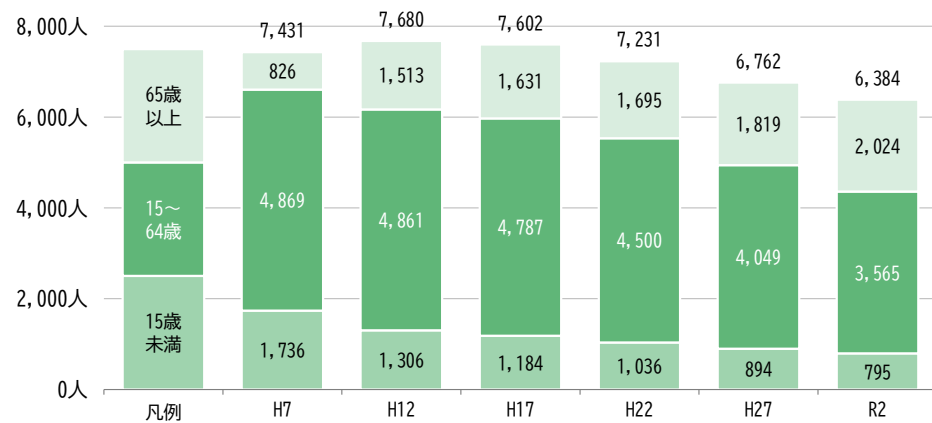
昭和30年の村制施行から70周年を迎え、まちづくりは次の新しいステージに進みます。知恵を出し、力を合わせ、村全体で本村の魅力を活かしながら、村民一人ひとりが心身ともに健康で幸せを実感できる持続可能なまちを創り上げるため、まちづくりを担う村民、地域、関係団体、企業、行政が共有するまちづくりの指針として「第7次玉川村総合計画」を策定します。

玉川村の概況

本村の人口は、平成12年以降減少しており、年少人口(15歳未満)、生産年齢人口(15~64歳)は減少傾向にある一方、老年人口(65歳以上)は増加しており、平成12年には老年人口が年少人口を上回っています。

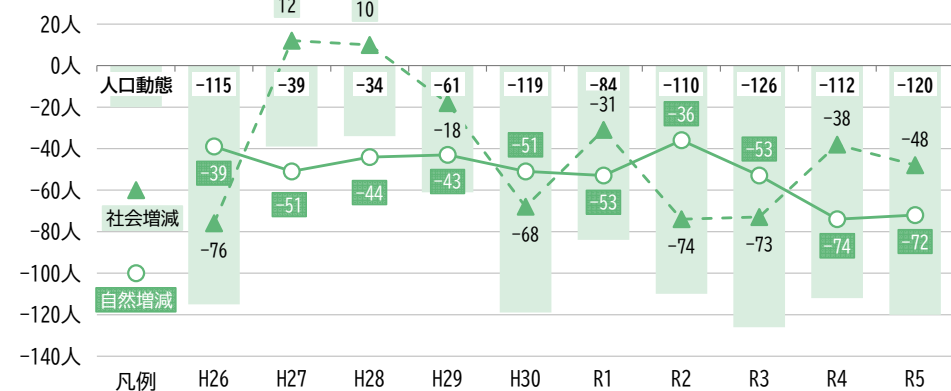
また、自然動態では令和3年以降自然減が拡大し、社会動態では平成29年以降転出超過による社会減が続いています。

■総人口及び3区分別人口の推移



資料:国勢調査

■人口動態の推移(自然動態・社会動態)



資料:福島県現住人口調査年報

これまでの取り組みと村の現状

(1) 保健・医療・福祉分野

- ・若年層の未婚率の上昇と晩婚化の影響とみられる30代の母親の出生率が上昇傾向
- ・住民一人ひとりが、健康推進ルームを活用した継続的かつ自主的な健康づくり活動を実施
- ・妊娠出産期から子育て期へと切れ目のない支援を展開
- ・自宅により近いところでの高齢者の居場所づくりを推進
- ・障がいに応じた情報伝達手段の確保や避難経路の確保、避難時のサポート体制の構築が必要
- ・住民からは「子育て支援」、特に「住まいの支援や子育てサービスの充実」に関するニーズが高い

きめ細かな福祉サービスを提供するとともに、いつまでも住み慣れた地域で自分らしく生活していけるよう、地域共生社会の実現を目指していくことが重要です。

(2) 環境保全・住環境・防犯防災分野

- ・ごみの減量化に向けた意識啓発のためのカレンダーの配布と不法投棄防止のパトロールを実施
- ・すまブラザ住宅エリアの販売等による移住者の増加と定住を促進
- ・消防団員の確保と訓練の充実による消防団活動の強化と団員の資質向上
- ・今後充実を図っていくべき施策として、『居住環境の整備と交通手段の充実』に関するニーズが高い

豊かな自然と共存しながら、玉川村の魅力を高めつつ、持続可能な村づくりを進めていく必要があります。

(3) 産業・雇用・観光分野

- ・どの産業も就業者が減少傾向にあり、特に農業・林業においては高齢化が顕著
- ・コロナ禍でも観光入込客数が増加し、近年は航空機を利用した観光客が増加傾向
- ・認定農業者や青年等就農計画認定者を確保し、資材の支援や情報提供による技術向上を支援
- ・村内の空き用地の情報を収集し、企業へ紹介することが必要
- ・既存の観光資源をつなぐルートや情報発信の強化、中核となる観光物産協会の体制強化が必要

産業の活性化と魅力ある地域づくりに向け、村内企業とも連携しながら情報発信や環境整備の支援に取り組み、活力ある村づくりを進めていくことが重要です。

(4) 教育・生涯学習・スポーツ分野

- ・様々な体験機会の確保に向け、子どもたちが芸術に触れる機会を継続的に提供していくことが重要
- ・村民が学習機会を自由に選択できるよう、ニーズに合った講座の展開が重要
- ・村内の中高生の村への愛着度が9割となっているものの、地域活動の参加につながっていない

地域資源を活かした特色のある教育やデジタル技術の導入等により、人生100年時代と言われている今、誰もが自分らしく活躍できる環境と一人ひとりの居場所づくりが必要です。

(5) 住民協働・男女共同参画・行財政分野

- ・広報紙の発行や公式ホームページの運用、公式SNSを通して、村の取組を発信
- ・事業の「選択と集中」を図りながら、中長期的な視点に立ち、財源の有効活用
- ・定住意向や官民協働への意識が一定程度あるものの、地域活動への参加につながっていない

多様性を尊重し、地域のつながりを深めるとともに、デジタル技術の活用等により持続可能な行政経営を行うことで、魅力ある村づくりが必要です。

基本構想

第1章 村づくりの基本理念

これからは時代の変化に柔軟に対応しつつ、村民一人ひとりの幸福度を高めることを最優先に取り組んでいくことが重要です。そのため、本村では村民を主役に、村民一人ひとりが笑顔で暮らせる持続可能な村を目指します。

村民が主役 笑顔がきらめく 村づくり

第2章 将来像

人口減少や高齢化といった課題に直面する中でも、これまで培ってきた地域の歴史や資源、先人の知恵を知り、全ての村民や本村で働く人たちが手を取り合い、それぞれの役割と可能性を最大限に生かし、常に新しい挑戦を受け入れ、“明るく元気な”村づくりに取り組みます。

未来への挑戦！ 明るく元気な たまかわ

第3章 目標人口

本村の人口は、対策が講じられなかった場合、令和17年(2035年)で約5,100人、令和27年(2045年)で約4,200人、令和47年(2065年)で約2,600人まで減少すると推計されており、地域経済の衰退や地域コミュニティの継続等が困難となる恐れがあることから、人口減少に歯止めをかける対策が必要です。

本村では、令和17年(2035年)に約5,500人、令和27年(2045年)に約5,000人、令和47年(2065年)に約4,200人を維持することを目標とします。

令和2年国勢調査

6,392人

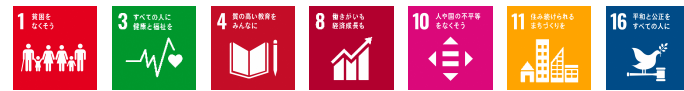
令和17年目標人口

約5,500人

(参考:社人研推計準拠:約5,100人)

基本計画

基本目標1 皆で支えあう元気な村づくり



主要施策	具体的な施策
① 保健・医療の充実	健康寿命の延伸/社会環境の質の向上
② 結婚・出産・子育て支援の充実	出会い・結婚へ向けた支援/子育てを応援する環境づくり/教育を通じた次代を担う親子の成長の支援/子どもの人権が守られ、安心して子育てできる環境づくり
③ 地域で支えあう福祉の推進	地域で支えあう意識の高揚、孤立化の防止/生活支援体制の確立/社会保障制度の適切な運営/虐待防止・権利擁護の推進
④ 障がい者福祉の充実	生活支援/就労・社会参加に向けた支援
⑤ 高齢者福祉の充実	介護予防事業と介護サービスの適切な提供/安心して暮らせる在宅福祉サービスの充実/高齢者が地域の中で多様な活動を展開できる村づくり

基本目標2 環境にやさしい安全・便利な村づくり



主要施策	具体的な施策
① 生活インフラの整備	道路・橋梁等の整備推進/公園の環境整備
② 循環型社会の構築	環境意識の高揚/適切なおみ処理の推進/地球温暖化の防止と循環型社会の構築/再生可能エネルギーの導入推進
③ 計画的な土地利用と自然環境の保全	合理的な土地利用の推進/自然環境の保全・活用/緑地・水辺の維持管理
④ 上下水道の整備	健全な上水道事業の推進/適正な下水道事業の維持管理
⑤ 移住・定住支援と居住環境の整備	移住・定住・二地域居住の促進/空き家等対策の推進/公営住宅の入居充実
⑥ 交通ネットワークの整備	福島空港の利活用促進/鉄道・バスの利用促進/新公共交通体系の検討
⑦ 防災・消防体制の充実	防災意識の高揚/消防・救急体制の充実/消防・防災資機材等の整備
⑧ 交通安全・防犯対策・消費者対策の充実	交通安全対策の強化/防犯対策活動の推進/消費者への情報提供や啓発活動

基本目標3 暮らしを支える産業が伸びゆく村づくり



主要施策	具体的な施策
① 農林業の振興	農産物、畜産物の振興/担い手確保と経営効率化の支援/森林機能の維持及び基盤整備
② 商業の振興	商工連携による商品開発とブランド化/商工会活動の支援/創業の支援
③ 工業の振興	企業誘致の推進/既存事業の支援
④ 雇用・勤労者対策の充実	就労支援の充実/就労環境の充実
⑤ 観光・交流活動の推進	観光誘客の推進/観光産業の支援/関係・交流人口の展開

基本目標4 未来を担う人財を育てる村づくり



主要施策	具体的な施策
① 学校教育の充実	小学校・中学校における教育の充実/教育施設等の充実
② 生涯学習の推進	生涯学習推進体制の充実/公民館、たまか文化体育館における各種講座・イベントの開催
③ スポーツの振興	スポーツ団体・指導者の育成とスポーツ交流事業の推進/健康増進に向けた各種スポーツ教室等の充実
④ 地域文化活動の推進と文化財の活用	文化財の保存・継承・活用/質の高い芸術や文化等の鑑賞の促進

基本目標5 多様性と協働の村づくり



主要施策	具体的な施策
① 協働の村づくりの推進とコミュニティの育成	地域の多様なコミュニティ活動の支援/広報・広聴活動の充実/地域住民の直接参加の推進
② 男女共同参画の推進	様々な分野における男女共同参画の推進/ワーク・ライフ・バランスの推進
③ 行財政改革の推進	施策の優先順位の明確化、重点化/健全な財政運営/公共施設の管理/行政改革の推進/こおりやま広域連携中枢都市圏の推進
④ 情報化の推進	地域情報化/情報発信、情報公開の推進/電子自治体の構築

重点プロジェクト

① 選ばれる村づくりプロジェクト

観光やオンラインを活用した交流事業等も積極的に活用し、魅力あふれる「玉川村」をPRするとともに、本村に「訪れる人」「興味を持つ人」を増やし、交流・関係人口の拡大を目指します。

主要施策	具体的な施策
① 移住・定住の促進	UIJ ターンの推進誘導/居住環境の確保・整備
② 交流人口と関係人口の拡大	観光資源の確立とPR強化/観光産業支援/空港周辺と東西観光交流拠点の創出/多様な人々の「関わり」の創出

② 元気な産業応援プロジェクト

従事者の高齢化や後継者不足等が顕著となっていますが、各産業において担い手の確保や、デジタル技術等の活用による生産性・作業効率の向上に取り組みます。

主要施策	具体的な施策
① 農業・地場産業の振興と支援	農業経営の強化支援/魅力ある農業の構築/地場産業の育成・支援
② 魅力ある産業の創出	起業・創業支援事業/企業誘致の推進
③ 人材育成支援と稼ぐ力の創出支援	民間事業者や地方創生を担う組織との協働/地方創生担い手育成支援/地域資源の魅力発信

③ 共に生きる村づくりプロジェクト

誰もが多様性を認め、尊重し合うことで、相互に支え合う共生社会の形成を目指します。

主要施策	具体的な施策
① 結婚・出産・子育て支援	出会いの場づくり/安心して出産し、子育てできる環境づくり
② 教育の充実・環境の整備	特色ある教育の推進/教育環境の整備/学校と地域の連携
③ 共生する村づくりの支援	高齢者、障がい者、外国人などが社会参加しやすい環境整備・拡充/男女が共に活躍できる社会づくり

④ 元気な村づくりプロジェクト

人口減少により地域活力の低下が懸念される中、デジタル技術の活用等により、担い手不足を補うとともに、地域における助け合い・支え合いを強化し、活力あふれる村づくりに取り組みます。

主要施策	具体的な施策
① 地域力の強化推進	防災減災の環境づくり/地域コミュニティ力の強化/産・学・官・民連携の推進
② スポーツ・健康地域づくりの推進	地域スポーツ資源への支援/みんなに優しい生活環境づくり
③ 持続可能な地域づくり	効率的な行政運営/広報・広聴活動の充実/広域連携の推進